

小学校普通教室への エアコン整備計画



平成29年1月18日

エアコン整備方針

事業期間

平成28年度～平成32年度の5年間で
全ての小中学校へ整備

概算事業費 約24億円

学校施設環境改善交付金及び合併特例事業債を活用

平成28年度～平成29年度に**中学校の普通教室**へ整備

平成28年12月補正予算に工事費4億9,794万6千円を計上

平成29年度～平成32年度の3期に分けて
小学校の普通教室へエアコンを整備

小学校のエアコン整備校数

	設置完了校(※)	整備予定校	備考
小学校 49校	1校(美里)	48校	美里の3小学校は、平成29年度に義務教育学校「みさとの丘学園」へ移行予定

※設置完了校・・・美里中学校の小中一貫校(みさとの丘学園)は整備工事時(平成28年度)に設置済み

整備予定校 48校

エアコンの単独整備
45校

大規模改造工事に
あわせて整備 **3校**

新町小学校:平成28～31年度

藤水小学校:平成29～31年度

西が丘小学校:平成30～32年度

エアコンの単独整備の45校について整備計画を作成

エアコン整備手順 ①

中学校区内の学校でのバラツキをなくす **小中一貫教育の推進**

① 中学校区単位での整備

同じ中学校区の小学校は同一時期に整備

効率的に、より多くの児童の学習環境を改善する

② 1学級平均児童数を指標とする整備

1学級当たりの児童の過密度が高い小学校(中学校区単位)から整備

地域的に偏った整備とならないよう考慮する

③ 地域間の均衡を踏まえた整備

市内を3地区に区分した整備

地区名	中学校区名
北地区	朝陽、芸濃、東観
中地区	橋北、東橋内、西橋内、橋南、南郊、西郊、一身田、豊里、南が丘
南地区	久居、久居西、久居東、香海、一志、白山、美杉

※地区内で1学級当たりの児童の過密度が高い校区順に整備

エアコン整備計画

	整備年度	中学校区	小学校名	校数
第一期	平成30年度	朝陽、橋北、南郊、南が丘、久居、久居東、一志	上野、豊津、黒田、千里ヶ丘、南立誠、北立誠、高茶屋、雲出、南が丘、誠之、成美、戸木、立成、桃園、一志西、一志東	16
第二期	平成31年度	芸濃、一身田、豊里、東橋内、橋南、久居西、香海	芸濃、明、一身田、白塚、栗真、大里、高野尾、豊が丘、敬和、修成、育生、栗葉、榊原、香良洲	14
第三期	平成32年度	東観、西橋内、西郊、白山、美杉	安濃、明合、村主、草生、養正、神戸、安東、櫛形、片田、家城、川口、八ツ山、大三、倭、美杉	15

平成29年度当初予算に第一期整備校分の設計業務に係る予算2,110万円を計上する方針を決定

整備スケジュール

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
第一期		設計予定	エアコン整備予定		
第二期			設計予定	エアコン整備予定	
第三期				設計予定	エアコン整備予定
新町小学校		大規模改造工事予定			
		エアコン整備予定			
藤水小学校	設計予定	大規模改造工事予定			
		エアコン整備予定			
西が丘小学校		設計予定	大規模改造工事予定		
			エアコン整備予定		

※エアコン単独整備(第一期～第三期)については、当初予算で設計費を計上し、12月補正予算で工事費を計上予定

※新町小学校、藤水小学校、西が丘小学校は大規模改造工事予定校

**平成29年2月20日に
新たな津市教育委員会庁舎へ
教育委員会事務局を移転・業務開始**



平成29年1月18日

津市教育委員会庁舎誕生までの経過

平成20年9月に旧県営住宅跡地の県有地と市有地を交換

本庁舎内に配置が必要な部署の執務場所・会議室の確保が必要

旧県営住宅跡地に複合施設を整備

1階に津市応急クリニック、2階～4階に事務所機能を整備

2階～4階への配置部署

- ▶ 津市応急クリニックとの連携が必要な健康福祉部地域医療推進室
- ▶ 業務の独立性や連携性など一定のまとまりが必要な教育委員会

津市教育委員会庁舎の誕生

津市教育委員会庁舎の場所

津市教育委員会庁舎
津市西丸之内37番8号



津市教育委員会庁舎の概要

敷地面積

1,394m²

建物概要

建物用途

複合施設（教育委員会庁舎、津市応急クリニック）

構造

RC造一部鉄骨造 4階建

建築面積

469m²

延床面積

1,621m²（教育委員会庁舎 1,336m²
津市応急クリニック 285m²）

駐車台数

一般駐車場 11台
おもいやり駐車場 2台

駐輪台数

13台

工事費

6億6,600万円（合併特例事業債を活用）

工期

平成28年3月28日～平成29年1月16日

津市教育委員会庁舎各階の状況

4階

●教育総務課	159m ² (現在 143m ²)
●教育長室	51m ² (現在 47m ²)
●教育委員会室	55m ² (現在 50m ²)

3階

●教育研究支援課	116m ² (現在 78m ²)
●人権教育課	41m ² (現在 41m ²)
●会議室3	23m ²
●会議室4	16m ²
●相談室	11m ²

2階

●地域医療推進室	37m ² (現在 15m ²)
●学校教育課	83m ² (現在 68m ²)
●生涯学習課(生涯学習振興担当・文化財担当)	77m ² (現在 72m ²)
●会議室1	11m ²
●会議室2	16m ²

1階

●津市応急クリニック	285m ² (現在 68m ²)	平成29年4月1日開設
------------	--	-------------

津市教育委員会庁舎の特徴

- 保護者や教育関係者が相談・協議に利用できる会議室(4室)及び相談室(1室)を新たに整備

プライバシーに配慮した環境で子どもたち一人ひとりに
応じた教育相談

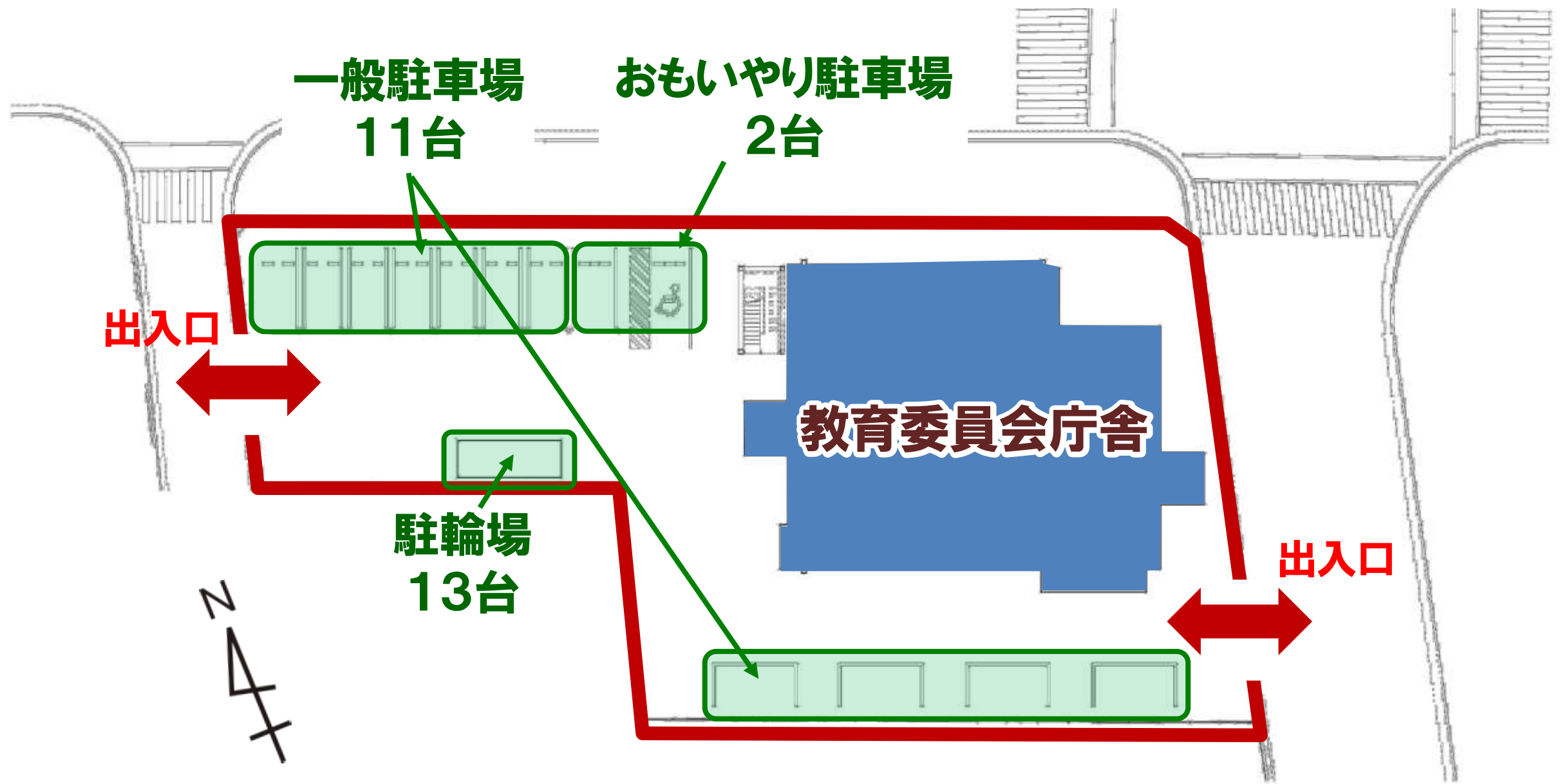
- 執務室スペースの面積を現在の約1.4倍に拡大
- 書庫スペース(52m²)を新たに設けて移動書庫を配備

執務スペースの確保による職場環境の改善

- 市美里庁舎の学校サポートセンター及び教育研究機能を教育委員会庁舎に移転し教育研究支援課と連携した一体的な施策の実施

広くなり機能的になった庁舎を活用した新たな施策展開
▶ 教育委員会事務局の学校現場への支援充実

津市教育委員会庁舎 配置図



1階 津市教育委員会庁舎

平成29年4月1日オープン

津市応急クリニック
(285m²)

教育委員会庁舎
正面出入口

応急クリニック
通常出入口

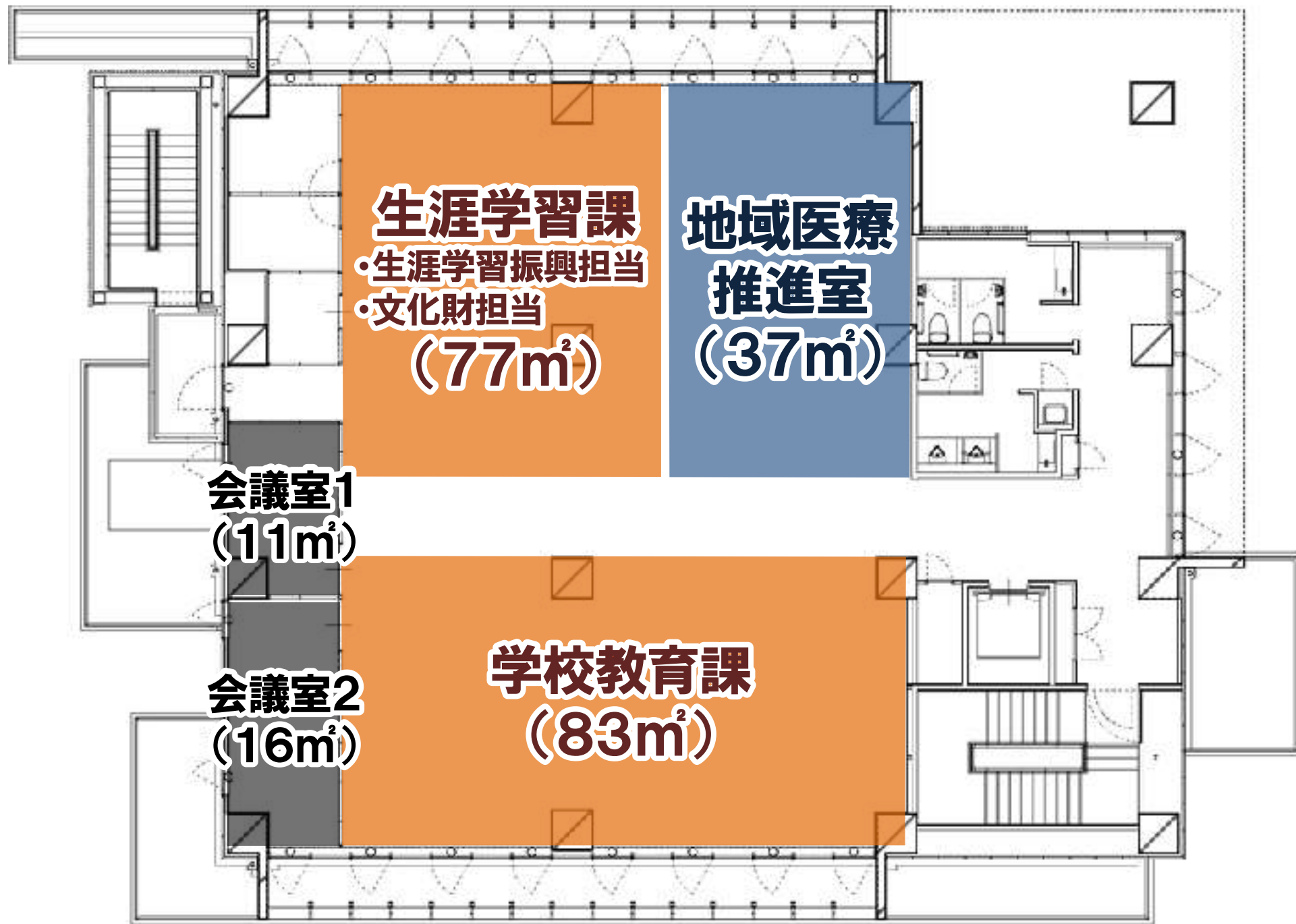
出入口



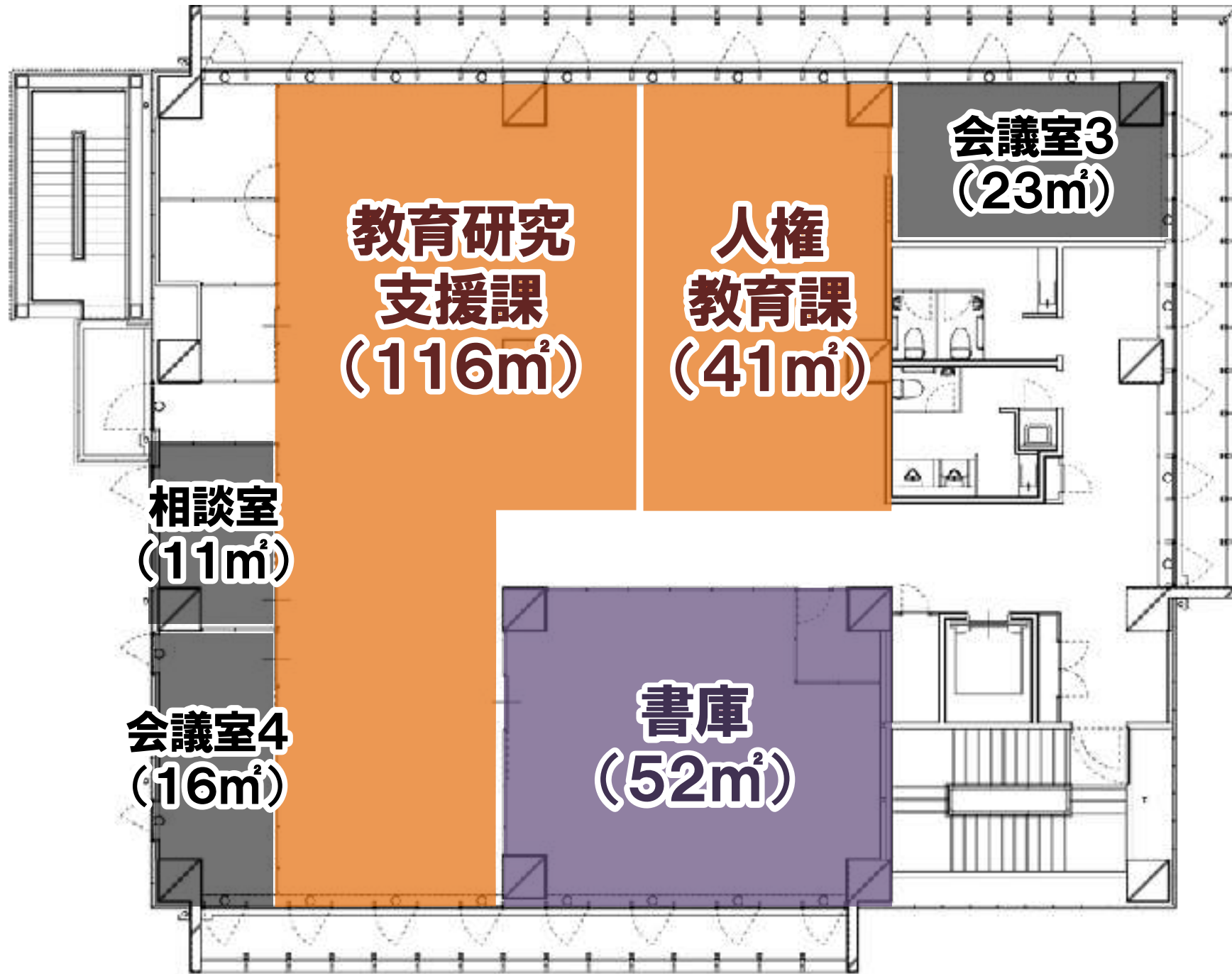
教育委員会庁舎
正面出入口



2階 津市教育委員会庁舎



3階 津市教育委員会庁舎



4階 津市教育委員会庁舎

